

(4) 教育普及事業

1. 事業の基本的な考え方

展示解説、普及活動等を行う教育普及事業は、調査・収集・整理・保存・展示・研究などの諸活動とともに、文学館活動の中で重要な位置を占める。県民のニーズに対応し、社会教育・学校教育との連携を図るなかで、文学専門の博物館としての特殊性を生かし、年間を通しての文学講座の開催、講演会の開催、文学的に価値ある映画の上映、朗読講演会など、県民や来館者の生涯にわたる学習がより一層進展するように学習支援を行っていく。

また、山梨ゆかりの作家や作品の資料を活用した学習プログラムや子ども向け事業の充実を図ることは、郷土への関心を高め、郷土を愛し、郷土に誇りを持てるような心情を育むという点からも重要であると考え。子どもから大人までの幅広い県民の文学活動の中心となり、文化の発信拠点を目指す。

2. 教育普及活動の内容

(1) 特設展・企画展関連教育普及事業

企画展「雲母」創刊100年記念「俳句百景 季節を生きる喜び」、春の特設展「田中冬二展 なつかしい日本の風景」、夏の特設展「芥川龍之介の夏休み」に関連して、作家・研究者・関係者による講演会や関連講座を行う。特設展・企画展のテーマを詳しく解説し、展示では扱えなかった視点から考察を加えるとともに特設展・企画展そのものへの理解を深められるように実施した。外部講師及び職員による講演会・講座などを通して文学を学ぶ機会を提供した。

- ①外部講師及び職員による講演会・文学講座事業を実施。
- ②関連映画鑑賞会を実施。
- ③関連ワークショップを実施。
- ④ギャラリートーク（展示解説）を実施。
- ⑤チャレンジクイズ

楽しみながら展示の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供。

(2) 山梨文学散歩

16年度から秋の企画展関連事業として実施している。文学館及び、文学館が別に定める選定要領により選定したNPO法人、旅行業務取扱資格を有し低経費で事業実施可能な公益社団法人やまなし観光推進機構、県学術文化財課との協働事業とし、コースにあたる市町村の協力のもと開催する。企画展観覧後文学ゆかりの地を訪ねることで、より興味深く学習できる内容を取り組んできたが、平成24年度からは、企画展関連に限らず広く県内の文学ゆかりの地を巡ることとして実施している。平成27年度は、笛吹地域の山盧・藤壘の滝・遠妙寺などを訪ねた。

(3) 年間文学講座

年間文学講座は平成2年度から実施している。県民の興味・関心に応じて幅広く学べるよう配慮し、テーマ設定に当たっては講師の専門性を生かすとともに、県民のニーズに対応できるよう、土・日や平日にも開講する。

平成27年度は、外部講師による「古典文学講座（全8回）」と「近代文学講座（全8回）」の2講座と当館の学芸員が講師を務める「山梨の文学講座（全2回）」を実施した。

講座1のテーマは「歴史の中の枕草子」、講座2のテーマは「山田風太郎の明治小説」、講座3は、当館の展示作家を中心に、山梨出身・ゆかりの人物と文学についての講座を実施した。

(4) 名作映画鑑賞会

文学作品を映画化した名作の数々を上映し、文学と映画の関わりについて考え、作品をより深く理解してもらうための企画である。平成2年から毎年実施し、企画展開催期間中には関連映画鑑賞会を実施、また、夏休みには子ども向け映画上映も計画している。平成27年度は一般向け映画4回、子ども向け映画を2回、全6回実施した。

(5) 朗読講演会

作品（詩・小説など）の魅力を朗読講演によって鑑賞する一般向けの企画を1回実施する。これは、開館の年から毎年開催、幅広い年齢の聴衆から大変好評を博している。平成27年度は、「川上未映子さんによる新訳『たけくらべ』朗読と講演」を10月に実施した。

(6) 文学創作教室

俳句をはじめ短歌や詩、エッセイなどの創作を通じて、文化活動を推進する。小・中・高校生をはじめ広く県民を対象に、文学創作講座を実施する。今年度は、ミュージシャンの藤巻亮太さんと三枝館長による対談「藤巻亮太 歌と詩」（一般および高校生対象）と館長による短歌教室（4回）を開催した。

(7) 山梨の文学解説講座（出前講座）

この講座は、学芸課の職員が、要請された市町村等に関連のある県出身・ゆかりの文学者と作品を紹介する講座である。当館の研修室・講堂等あるいは市町村施設等において、説明・講義した。

(8) 教師のための学習会

県内の小・中・高校・特別支援学校の教職員を対象に春と秋の企画展に関わって、文学館職員による説明と観覧を通して、国語教育への活用を図った。

(9) 児童生徒向け事業について

将来の山梨を担うことになる子どもたちに、山梨ゆかりの文学と文学者について学びきっかけを作る。学校教育との連携をより緊密にして、文学を通して豊かな心を育てていく。

① 文学教室

年間を通じ、随時開催する。小学校、中学校、高等学校の要請に応じ、当館が展示する内容について、当館の研修室・講堂等、あるいは各小中学校、高等学校において、説明・講義する。

② 子ども名作映画会

当館講堂において、夏休み（2回）の期間中に良質の映画の上映を行う。

③ 子どもワークショップ

子どもを対象とした参加型・体験型の教室を開催し、文学を身近に感じ、文学や文学者に興味を持ってもらう機会とする。今年度は、特設展関連事業として「アロマと詩のワークショップ」また、夏休みのワークショップとして、「消しゴムはんこで蔵書票を作ろう」「米光一成さんの『575と言葉』ワークショップ」「飛び出す絵本を作ろう」を開催した。1月には、百人一首教室を実施した。

④ 学習ガイド（ジュニアガイドブックと教育普及用資料集）

県出身又はゆかりの文学者、作品について、小中高生の理解を深めるために、文学者、作品についての教育普及資料集を作成する。平成27年は宮沢賢治の教育普及資料を改訂した。

また、常設展示室に展示されている山梨県出身およびゆかりの文学者について、わかりやすく解説したジュニアガイドブックを活用し、子どもたちが文学への興味や関心を持てるようにする。

⑤ チャレンジ文学館

常設展クイズ「わたしはだあれ？」と公園内オリエンテーリング「文学の柱追跡散歩」。

常設展を見に来た子どもたちが、ポイントをつかんで楽しく観覧できるように、常設展クイズ「わたしはだあれ？」を実施し活用を図っている。また、芸術の森公園内に、俳句や詩、短歌や童謡、小説やエッセイの一節を書いた24本の柱を立て、「文学の柱追跡散歩」としてクイズを実施する。さらに、今年度も夏休みフリーパスポートの活用により、夏休み期間中は「夏休みチャレンジ文学館」として子どもたちへの浸透を図った。

⑥ チャレンジクイズ

楽しみながら企画展や特設展の内容が学べる小中学生対象のクイズを作成。「チャレンジクイズ」を通して、文学や作家について学ぶ機会を提供する。

⑦ (ジュニア) インターンシップ (就業体験)

子どもたちの職業観・勤労観を、より早い段階から育成するとともに、将来、自らの進路を自分自身で選択できる能力を育てていくことが課題となっている。文学館としても、中・高校・大学生の職場見学や(ジュニア) インターンシップを積極的に受け入れ、若年者の職業意識形成支援に積極的に取り組む。平成27年度は中学生、高校生のインターンシップを受け入れた。

⑧ 学習資料・アウトリーチセットの貸与

館作成資料の一部を学習のために貸与する。要請により、学校をはじめ、生涯学習事業等に対して貸与を行う。平成27年度は、「石川啄木展セット」(等身大パネル・短歌10首のパネル・解説パネル)を県内小中学校9校に貸し出した。そして、飯田蛇笏・龍太のちまちな人形セット(蛇笏、龍太のちまちな人形・俳句パネル・解説パネル)を10校に貸し出した。また、「村岡花子と赤毛のアンセット」を13校に貸し出した。

⑨リーディングシアター

新しい教育課程全面実施の中で現在各学校が教科を超えて取り組む「言語活動の充実」の一助として、小中学校の日頃の学習の成果の発表の場を作り、児童生徒の学習の目的意識や相手意識の構築をサポートすることを目的に、平成24年度から始めた。

児童生徒がお互いの発表を聴き合い、また、大人の方にも聴いてもらう交流の場をつくり、朗読の楽しさを味わい、更に読書への興味・関心・意欲を育てることにつながることをめざし、また、保護者等に文学館を知ってもらう機会とする。

(10) やまなし文学賞について

平成4年4月、山梨県にゆかりの深い樋口一葉の生誕120年を記念して制定された。山梨県の文学振興をはかり、日本文化発展の一助として、小説、研究・評論の2部門が設けられている。平成27年度は小説部門259編、研究・評論部106編の応募があった。

平成27年度 教育普及事業の実施状況

分類	内容 講師 等	開催日・会場等	参加人数
文学講座 1	「歴史の中の枕草子」1～8回 池田尚隆(山梨大学教授)	土曜日 14:00～90分間 年8回 講堂	全8回 843人 平均 105人
文学講座 2	「山田風太郎の明治小説」 新保祐司 (文芸評論家・都留文科大学教授)	木曜日 14:00～90分間 年8回 講堂	全8回 459人 平均 57人
文学講座 3	「山梨の文学」 「山と文学」—田部重治と笛吹川を遡る 小俣 岳(学芸幹) 古典文学にみられる甲斐の動物たち 伊藤夏穂(学芸員)	木曜日 14:00～70分間 年2回 研修室 9/3(木) 10/15(木)	全2回 67人 平均 34人
参加者合計			1369人
秋の企画展関連事業 「雲母」 創刊100年記念 「俳句百景 季節 を生きる喜び」	座談会「季節と日本人—大震災と季語の宇宙」 講師 宇多喜代子(俳人) 長谷川耀(俳人) 井上康明(俳人) 対談「俳句的人間、短歌的人間」 講師 坪内稔典(俳人) 三枝昂之(当館館長)	10/4(日) 講堂 10/31(土) 講堂	228人 190人

秋の企画展関連事業 「雲母」 創刊100年記念 「俳句百景 季節 を生きる喜び」	講座1「俳諧から俳句へ―歳時記を読む― 復本一郎(神奈川大学名誉教授)	10/10(土) 研修室	101人
	講座2「「季」と近代俳句」 講師 岸本尚毅(俳人)	10/17(土) 研修室	107人
	講座3「戦後の生活環境と季語―蛇笏・龍太・ 「雲母」俳人の作品より―」 講師 瀧澤和治(俳人)	11/ 7(土) 研修室	95人
	講座4「「雲母」900号のあゆみ」 「季語をめぐる―出品資料のみどころ」 講師 高室有子・中野和子(学芸員)	11/14(土) 研修室	94人
	ギャラリートーク 講師 中野和子(学芸員)	1回	49人
参加者合計			864人
特設展関連事業 「田中冬二展 なつかしい日本 の風景」 「芥川龍之介の 夏休み」	講演会「磨きぬかれた日本語―田中冬二の詩の 美しさ―」 講師 林 望(作家・国文学者)	6 / 6(土) 講堂	267人
	講座「田中冬二がうたった山梨」 講師 高室有子(学芸員)	5 / 9(土) 研修室	64人
	ギャラリートーク 講師 高室有子(学芸員)	1回	30人
	講座1「夏休みの過ごし方―芥川龍之介の場合」 講師 保坂雅子(学芸員)	8 / 6(土) 研修室	76人
	ギャラリートーク 講師 保坂雅子(学芸員)	1回	28人
参加者合計			465人
文学創作教室	文学創作教室「藤巻亮太 歌と詩」 藤巻亮太(ミュージシャン)	4 /12(日) 講堂	430人
	文学創作教室(短歌)「初心者短歌教室」全4回 講師 三枝昂之(当館館長)	5 /14(木) 研修室 5 /28(木) 研修室	27人 27人
	第4回 講師 三枝昂之(当館館長)	6 /11(木) 研修室	23人
	三枝浩樹(歌人)	6 /18(木) 研修室	25人
	参加者合計		
名作映画鑑賞会	「あ・うん」	5 /24(日) 講堂	325人
	「氷壁」	6 /24(日) 講堂	367人
	アニメ「どんぐりと山猫」 「たのしいムーミン一家」	7 /25(日) 講堂	104人
	アニメ「杜子春」「あんじゅとずしおう」	8 / 9(日) 講堂	97人
	「めし」	9 / 6(日) 講堂	277人
	「縮図」	11/22(日) 講堂	276人
	参加者合計		
戦後70年連続講座	戦中戦後の「雲母」を詠む 講師 高室有子(学芸員)	7 / 3(土) 講堂	73人
	歌人たちの戦後―柳原白蓮を中心として― 講師 三枝昂之(当館館長)	7 /19(土) 講堂	120人
	太宰治の昭和20年 講師 保坂雅子(学芸員)	7 /31(土) 講堂	72人
	未来をつくる子どもたちへ 講師 あまんきみこ(児童文学作家)	8 /18(土) 講堂	350人
	参加者合計		

子どもワークショップ	アロマと香りのワークショップ	5 / 3(土) 素心菴	27人
	夏休みプロジェクト	7 / 20(月) アイメッセ	580人
	蔵書票ワークショップ	7 / 26(日) 研修室	46人
	「想像と言葉」ワークショップ	8 / 1(土) 研修室	40人
	飛び出す絵本ワークショップ	8 / 8(土) 研修室	45人
	新春カルタワークショップ	1 / 9(土) 素心菴	68人
	参加者合計		806人
チャレンジクイズ	チャレンジ文学館「わたしはだあれ？」		3095人
	文学の柱		173人
	企画展チャレンジクイズ		699人
	特設展チャレンジクイズ		2553人
参加者合計		6520人	
協力会読書会	石原慎太郎「太陽の季節」	5 / 10(日)	8人
	太宰治「津軽通信」	6 / 14(日)	8人
	芥川龍之介「羅生門・鼻」	7 / 12(日)	6人
	井上ひさし「父と暮せば」	8 / 9(日)	5人
	石黒佐近「山峡」	9 / 5(土)	18人
	堀辰雄「風立ちぬ」	10/11(日)	4人
	有吉佐和子「紀ノ川」	11/ 8(日)	10人
	森沢明夫「あなたへ」	12/13(日)	11人
	林真理子「下流の宴」	1 / 24(日)	9人
	藤沢周平「たそがれ清兵衛」	2 / 14(土)	9人
	又吉直樹「火花」	3 / 6(日)	11人
	参加者合計		99人
ジュニアインターンシップ (就業体験受け入れ)	中学校 4校		5人
	高校 1校		2人
	学芸員実習		3人
参加者合計		10人	
山梨の文学解説講座 (講師派遣) (一般・学校)	小学校 5回		小中高特 376人 一般 395人 全42回 771人
	中学校 3回		
	高等学校 回		
	一般 4回		
参加者合計			
文学教室	展示解説		小中高特 2983人 一般 319人 全回 3302人
	小学校 17校		
	中学校 28校		
	高等学校 22校		
	一般 7回		
参加者合計			
その他	移動文学館パネル展示	31校	6034人
	やまなし文学賞(小説259 研究・評論106)		365人
	リーディングシアター		140人
	外部共催研修	2回	55人
	山梨文学散歩	2回	97人
	各種団体への広報活動	13回	866人
	参加者合計		7557人